

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声
 ・住宅の裏に山があり、大雨で崩れてくるのではと心配です。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 桐生市広沢町三丁目
- 事業内容: 防護柵工 L=49m
- 事業期間: 令和7年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。

事業前の状況

事業後

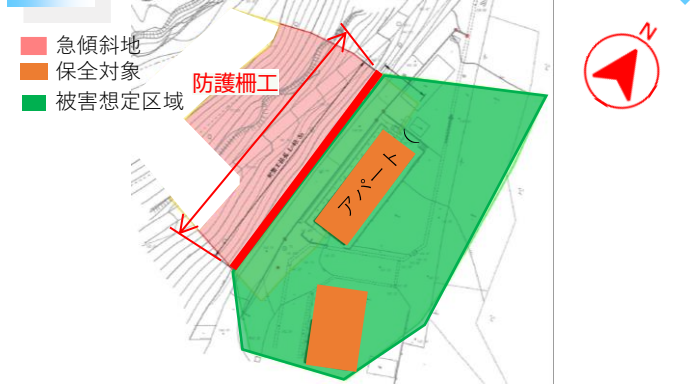
◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸

実施後(目標)
0戸

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか
 令和8年度は、防護柵工の詳細設計を行います。

